平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　藤倉化成株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4620　URL　http://www.fkkasei.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 鷲野　襄治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 下田　善三　TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,739	0.6	1,077	△36.7	1,107	△33.5	692	3.5
24年3月期第3四半期	39,494	△1.7	1,701	△42.4	1,664	△40.1	669	△59.0

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　584百万円　(52.0%)　24年3月期第3四半期　385百万円　(△71.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	21.19	―
24年3月期第3四半期	20.48	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,981	24,012	51.4
24年3月期	42,428	23,845	53.0

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　22,625百万円　24年3月期　22,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.00	―	7.00	14.00
25年3月期	―	7.00	―		
25年3月期(予想)				7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	2.9	1,800	△2.8	1,800	0.9	1,100	10.8	33.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	32,716,878 株	24年3月期	32,716,878 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	38,168 株	24年3月期	38,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	32,678,710 株	24年3月期3Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災からの復興需要等を背景に一部で回復の動きが見られましたものの、アジア近隣諸国との外交問題や欧州の金融不安に端を発する世界経済の減速感の強まりなどもあり、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような環境の下、当第３四半期連結累計期間の売上高は397億39百万円（前年同期比0.6％増）となり、営業利益は10億77百万円（同36.7％減）、経常利益は11億７百万円（同33.5％減）、四半期純利益は６億92百万円（同3.5％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①　コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）につきましては、自動車分野においては、国内市場では東日本大震災による生産調整の影響を大きく受けた前年同期と比べ、自動車の生産台数の回復に伴い、需要が回復いたしました。海外市場においては、北米市場・東南アジア市場では堅調に推移いたしましたが、中国市場における需要が、日中関係の悪化に伴う日系自動車メーカーの販売不振の影響を受け、減少いたしました。

この結果、売上高は129億23百万円（同0.1％増）となり、営業利益は２億46百万円（同45.5％減）となりました。

②　建築用塗料

建築用コーティング材につきましては、前年同期と比べ、新築向け市場では微減となりましたが、リフォーム向け市場では施工棟数の増加から需要が順調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は92億56百万円（同3.8％増）となり、営業利益は６億76百万円（同8.2％減）となりました。

③　電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）の電子材料部門におきましては、エレクトロニクス産業における世界的な競争激化や円高の長期化による競争力の低下などにより、需要が低迷し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は34億円（同26.3％減）となり、営業利益は27百万円（同91.8％減）となりました。

④　機能材料

樹脂ベースなどの機能材料部門におきましては、主力製品である粘着材ベースの主要ユーザーの在庫調整の影響などから受注が低迷し、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は11億69百万円（同15.6％減）となり、営業損失は20百万円（前年同四半期は営業利益38百万円）となりました。

⑤　化成品

トナー用樹脂などの化成品部門におきましては、ＯＡ機器分野の大手ユーザー向けトナー関連製品が引き続き順調に推移したほか、電荷制御剤の需要も好調に推移いたしました。

この結果、売上高は18億62百万円（同6.8％増）となり、営業利益は１億86百万円（同12.7％増）となりました。

⑥　合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、ＬＥＤ液晶ＴＶ向け関連製品の新採用が増加するなど、需要の回復から売上高は増加いたしましたが、収益面では円高の長期化による為替相場の影響を大きく受けました。

この結果、売上高は112億54百万円（同11.9％増）となり、営業損失は38百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債・純資産の状況）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ15億53百万円（前連結会計年度末比3.7%）増加し、439億81百万円となりました。

①　流動資産

社債の発行による現金及び預金の増加の結果、前連結会計年度末と比べ14億75百万円（同5.8%）増加し、268億94百万円となりました。

②　固定資産

英国子会社のFujichem Sonneborn Ltdの機械及び装置の入替などによる有形固定資産の増加及び当社などのソフトウエアの増加などの結果により、前連結会計年度末と比べ77百万円（同0.5%）増加し、170億87百万円となりました。

③　流動負債

久喜物流センター建設、製造設備及び開発設備を中心とした設備未払金の支払などの結果、前連結会計年度末と比べ８億12百万円（同5.7%）減少し、135億41百万円となりました。

④　固定負債

社債の発行などにより、前連結会計年度末と比べ21億97百万円（同51.9%）増加し、64億28百万円となりました。

⑤　純資産

利益剰余金及び少数株主持分が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ１億67百万円（同0.7%）増加し、240億12百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.0%から51.4%へと1.6ポイント減少となり、１株当たり純資産額は前連結会計年度末より４円85銭増加し、692円35銭となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、平成24年11月９日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,441千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,278,102	9,673,716
受取手形及び売掛金	12,005,694	11,712,244
商品及び製品	3,369,927	3,043,516
仕掛品	29,473	33,974
原材料及び貯蔵品	1,927,934	1,777,722
繰延税金資産	569,461	399,306
その他	386,112	440,806
貸倒引当金	△148,287	△187,535
流動資産合計	25,418,416	26,893,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,596,603	8,411,390
減価償却累計額	△4,051,203	△4,300,527
建物及び構築物（純額）	3,545,400	4,110,863
機械装置及び運搬具	9,881,652	10,288,220
減価償却累計額	△7,277,202	△7,601,057
機械装置及び運搬具（純額）	2,604,450	2,687,163
工具、器具及び備品	3,237,719	3,316,166
減価償却累計額	△2,715,319	△2,801,845
工具、器具及び備品（純額）	522,400	514,321
土地	4,150,207	4,172,442
リース資産	280,782	348,589
減価償却累計額	△163,023	△188,833
リース資産（純額）	117,759	159,756
建設仮勘定	1,011,829	139,146
有形固定資産合計	11,952,045	11,783,691
無形固定資産		
ソフトウエア	367,061	764,003
のれん	165,324	43,449
その他	837,234	790,408
無形固定資産合計	1,369,619	1,597,860
投資その他の資産		
投資有価証券	1,309,523	1,285,702
長期貸付金	60,690	60,466
繰延税金資産	655,103	735,251
その他	1,709,158	1,694,396
貸倒引当金	△46,509	△70,288
投資その他の資産合計	3,687,965	3,705,527
固定資産合計	17,009,629	17,087,078
資産合計	42,428,045	43,980,827

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,526,919	7,291,975
短期借入金	2,985,614	3,287,394
1年内償還予定の社債	845,000	782,500
未払法人税等	156,264	77,878
未払費用	801,088	817,848
賞与引当金	546,293	315,674
リース債務	68,592	77,184
その他	1,423,120	890,659
流動負債合計	14,352,890	13,541,112
固定負債		
社債	720,000	2,860,000
長期借入金	―	133,324
繰延税金負債	263,558	257,759
退職給付引当金	2,424,531	2,324,789
長期未払金	421,531	400,444
リース債務	108,280	99,335
その他	292,495	351,962
固定負債合計	4,230,395	6,427,613
負債合計	18,583,285	19,968,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	12,631,508	12,955,383
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	22,998,859	23,322,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,437	5,297
為替換算調整勘定	△575,787	△702,832
その他の包括利益累計額合計	△532,350	△697,535
少数株主持分	1,378,251	1,386,903
純資産合計	23,844,760	24,012,102
負債純資産合計	42,428,045	43,980,827

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	39,494,072	39,738,802
売上原価	28,888,100	29,478,376
売上総利益	10,605,972	10,260,426
販売費及び一般管理費	8,904,518	9,183,212
営業利益	1,701,454	1,077,214
営業外収益		
受取利息	4,763	5,480
受取配当金	35,494	32,529
固定資産賃貸料	48,990	50,004
その他	65,442	99,473
営業外収益合計	154,689	187,486
営業外費用		
支払利息	75,053	70,854
社債発行費	－	38,226
その他	116,693	48,978
営業外費用合計	191,746	158,058
経常利益	1,664,397	1,106,642
特別利益		
退職給付制度改定益	－	131,032
受取保険金	46,570	－
特別利益合計	46,570	131,032
特別損失		
災害による損失	20,403	－
投資有価証券評価損	－	20,617
特別損失合計	20,403	20,617
税金等調整前四半期純利益	1,690,564	1,217,057
法人税、住民税及び事業税	708,377	365,917
法人税等調整額	245,720	108,505
法人税等合計	954,097	474,422
少数株主損益調整前四半期純利益	736,467	742,635
少数株主利益	67,247	50,142
四半期純利益	669,220	692,493

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	736,467	742,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141,722	△34,952
為替換算調整勘定	△210,197	△115,842
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△7,471
その他の包括利益合計	△351,919	△158,265
四半期包括利益	384,548	584,370
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,030	527,308
少数株主に係る四半期包括利益	44,518	57,062

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	12,909,185	8,917,914	4,585,242	1,384,882	1,743,785	9,953,064	39,494,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	9	25,502	226	－	108,716	134,453
計	12,909,185	8,917,923	4,610,744	1,385,108	1,743,785	10,061,780	39,628,525
セグメント利益又は損失（△）	452,185	736,076	329,504	38,288	165,234	△19,812	1,701,475

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,701,475
セグメント間取引消去	△21
四半期連結損益計算書の営業利益	1,701,454

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	12,923,433	9,255,990	3,383,699	1,168,837	1,862,047	11,144,796	39,738,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	88	15,933	363	－	109,529	125,913
計	12,923,433	9,256,078	3,399,632	1,169,200	1,862,047	11,254,325	39,864,715
セグメント利益又は損失（△）	246,424	675,606	26,989	△19,978	186,187	△38,182	1,077,046

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,077,046
セグメント間取引消去	168
四半期連結損益計算書の営業利益	1,077,214

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「コーティング」で16,910千円、「建築用塗料」で452千円増加し、セグメント損失が、「合成樹脂」で79千円減少しております。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。